

# タテカワ森本

## 新素材を活用した独自の 草履づくりで新価値を創造

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリー技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



軽く疲れにくい草履芯「楽徒」

### 業務内容 伝統守りながら 変革する提案型企業

住吉大社にほど近い大阪市住之江区御崎<sup>みさき</sup>で昭和35年に創業した同社は、和装草履パーツ素材の材料販売からスタート。顧客の要望により、前社長の時代から草履やバッグといった製品のOEM（相手先ブランド生産）も手がけている。和装を楽しむ人も少なくなる中、伝統を守りながらも新しい素材やデザインを提案できる企業として存在感を放ってきた。本社2階のアトリエでデザイン制作や手作業での仕上げ加工などを行い、1階の工場で材料の裁断や成形加工をする。成人式の振り袖に合わせる華やかなデザインから礼装用のフォーマルなデザインまで、スタイルに合わせてさまざまな製品を提案する。

### 強み 自社製造へのこだわり

短納期で安定した品質の製品を提供するため自社製造にこだわってきた。社内には最終製品まで設計できるデザイナーから、機械を熟知した機械工、手作業担当のベテラン職人まで、その道のプロ<sup>①</sup>を多く抱える。草履には5〜6層にもなる底部分の「芯」に布の張りを保ったまま接着する難しい工程があるが、慣れた手つきで迅速・丁寧に加工作る光景は見る者を魅了する。また独自製品の展開にも意欲的で、四半期ごとに新製品を発表、1〜2年に一度モデルチェンジに取り組む。企画から製造、販売までの全工程を自社でまかなうことで、顧客が求める付加価値の高い製品を迅速に市場投入できるところが強みだ。

### 独自製品 軽くて疲れにくい 新素材の草履芯「楽徒」

「業界常識にとらわれないものづくり」を

追求する。新素材を活用した草履芯「楽徒」もその一つだ。従来、草履の底部分に使用する芯にはコルクを使うのが業界の常識だが、同社はサンダルなどにも使われているEVA（エチレン・酢酸ビニル樹脂）と呼ばれる合成樹脂を使用。軽くて弾力性に優れ、履き心地が良く疲れにくい。EVAは素材特性をよく理解していないと加工が難しかったため、プロ<sup>②</sup>を多く抱える同社ならではの強みが存分に生かされている。また「楽徒」は小ロットでも安定的な価格で供給できることから、顧客の間でも評判が高いという。

### 後の展望 革新的で競争力ある 和装小物を追求

2020年の東京五輪パラリンピックを機に海外から日本へ訪れる人が増加し、和装を楽しむ外国人は今以上に増える<sup>③</sup>と見込む。この機を逃さず、外国人観光客に向けた製品づくりにも力を入れたい考えだ。

伝統を重視した製品を作り続ける一方で、今までにない斬新なものづくりも加速させていく。革新性・デザイン性のある製品や、カジュアルで和洋折衷を追求した和装小物の開発も進めていく予定だ。コスト競争で優位に立つ中国に負けないよう、デザインやブランド力を生かした国際競争力のある製品づくりに取り組んでいく。



草履芯へ布を手貼りする



バッグ製造の様子

## 当社の歴史



和装小物の中で主に草履、バッグを製造・販売してきました。もともとは草履の足の裏が当たる部分である「天」の材料を供給する会社でしたが、顧客の依頼で草履の芯を製造したのをきっかけに、最終製品まで手がけるようになりました。「楽徒」を代表に、伝統を守りながらも革新を続けています。

代表 森本 桂一郎さん

<https://tatekawamorimoto.jimdofree.com/>

### 主な事業内容

和装小物の製造・販売、  
草履部材の提供

### 主な取引先(納入先)

全国の和装メーカー、  
呉服チェーン店

- 住所 〒559-0013  
大阪市住之江区  
御崎1-1-3
- TEL 06-6681-4433
- FAX 06-6681-4333
- 創業 昭和35年4月
- 設立 昭和35年4月
- 資本金 —
- 従業員 12名